



地域学校協働活動

コミュニティ・スクール だより

今年度も、各学校において熟議を実施してもらっています。今回は、宮島学園と甘日市小学校の熟議の様子を紹介します。どちらの学校も、熟議に子どもたちが参加しています。

宮島学園の熟議

宮島学園（宮島小学校・宮島中学校）では、7月3日に熟議が行われました。熟議の概要は次のとおりです。

1 熟議の議題

「宮島の未来について考える ～どんな宮島にしたいか～」

前半：10年後の理想の宮島について

後半：その理想に近づけるためのアイデア

2 熟議の参加者

○学校運営協議会委員 ○児童・生徒の代表 ○教職員 ○保護者代表

3 熟議の流れ

- ・ AからDまでの4つのグループに分かれ、それぞれ別の教室で話し合う。
- ・ 話し合ったことをグループごとにネットを通じて発表し、電子黒板で見て聞く。

児童会の小学生が2名、生徒会の中学生在が6名、グループに分かれて熟議に参加しました。小学生も自分の考えを付箋に書き、しっかりと発表していました。中学生は自分の考えを伝えるだけでなく、みんなの意見を整理したり他のグループに向けて発表したりしました。子どもたちが、とても積極的に熟議に参加していました。学校運営協議会委員の方からも、「子どもが自分の思いをしっかりと伝えていたのがすごいなと思った。」と感想を述べられました。熟議に参加することで、子どもたちは自分の考えを表現することへの自信を高めていました。



廿日市小学校の熟議

廿日市小学校では、7月31日に熟議が行われました。熟議の概要は次のとおりです。

1 熟議のテーマと視点

- 「児童・教職員・保護者・地域の well-being を実現する学校づくりのために」
〈現状〉それぞれの立場から見た廿日市小学校はどんな学校か。
〈目指す姿〉廿日市小学校をどんな学校にしていきたいか。
・自分たちが住む地域をどのようにしていきたいか。
〈改善策〉目指す姿の実現に向けて学校・保護者・地域それぞれが何をするか。

2 熟議の参加者

- 学校運営協議会委員 ○地域学校協働活動コーディネーター ○教員
○PTA副会長 ○廿日市中学校第1学年生徒（廿日市小卒業生）

3 熟議の流れ

- ・ AからEまでの5つのグループに分かれ、それぞれのテーブルで話し合う。
- ・ 話し合ったことをグループごとに発表する。



熟議に、昨年度小学校を卒業した中学1年生が5名参加しました。ある生徒は、参加の動機を「卒業した廿小の役に立ちたい。」と書いていたそうです。また、卒業した中1の生徒37名から「廿日市小学校がどんな学校になってほしいと思いますか。」などの問いにアンケートフォームで回答が寄せられました。熟議では、どのグループでも中学生が自分の思いや考えをしっかりと話していました。大人も真剣に中学生の生の声に耳を傾けていました。熟議で、直接子どもたちの意見を聞くことで、より子どもを中心にした話し合いができていました。目指す姿として、「誰もが行きたいと思える学校」、「だれもが意見が言える学校」、「地域と子どもがつながる学校」などの意見が出されました。

廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号

TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ